

■ 会社概要

商号	こころネット株式会社
発足	2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	福島県福島市鎌田字舟戸前15番地 1
代表者	代表取締役会長 齋藤 高紀 代表取締役社長 菅野 孝太郎
資本金	500百万円
決算日	3月31日
従業員数	グループ: 527名 [外、臨時従業員25名] 単体: 31名
事業内容	グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、不動産管理、総務・経理・人事等の管理

■ 役員

代表取締役会長	齋藤 高紀	取締役	伊藤 信弘
代表取締役社長	菅野 孝太郎	取締役 (常勤監査等委員)	加藤 重光
取締役	澤田 正晴	取締役 (監査等委員)	菅野 晴隆
取締役	熊坂 秀一	取締役 (監査等委員)	鈴木 一徳
取締役	羽田 和徳		

■ 株主メモ

上場市場	東京証券取引所スタンダード市場
上場日	2012年4月25日
証券コード	6060
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL: https://cocolonet.jp/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/

株主の皆様へ

2024年3月期 第2四半期のご報告





代表取締役社長
菅野 孝太郎

中期経営計画を着実に押し進め、 企業価値の最大化を図る。



— グループ理念 —

私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらす
サービスを提供いたします。

Q1 当上期の経営環境と業績動向をお教えてください。

厳しい経営環境が続く中、当上期は前年同期を上回る業績で推移しました。

当上期における経営環境は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴う行動制限の緩和等を背景に、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。その一方で、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇や金融資本市場の変動等による影響にも注視が必要な状況が続きました。

こうした環境の下、当社グループの葬祭事業や婚礼事業では、葬儀の小規模化、婚礼の需要減少及び小規模化が依然として継続しました。また、石材事業では、国際情勢の影響等により、海外における原石の在庫不足、石材商品の入荷遅延等が継続しました。

しかしながら、当上期の連結業績は前年同期を上回る成果を上げることができました。売上高は、主に葬祭・石材事業における増収により、前年同期比0.5%増の4,799百万円となりました。営業利益は、売上原価が低減した一方で、広告宣伝の強化や葬祭事業におけるM&Aに伴い販売費及び一般管理費が増加したこと等により、同21.0%減の262百万円となりました。経常利益は、営業外収益の増加及び営業外費用の減少等により、同8.2%増の377

百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、婚礼会場の閉館に係る固定資産の譲渡決定に伴い減損損失を特別損失に計上した一方で、法人税等が減少したこと等により、同39.3%増の235百万円となりました。

Q2 当上期におけるセグメント別の状況はいかがですか。

主に葬祭事業と石材事業の業績が連結業績に貢献しました。

当社グループでは、第4次中期経営計画の重点施策及び事業別施策を積極的に押し進めております。

そうした施策の着実な実行に加えて、葬祭事業では、顧客囲い込みに注力するとともに、葬儀施行の単価向上施策やアフターフォロー営業等を強化し、葬儀施行単価及び法事施行件数等が前年同期よりも増加し、営業減益ながらも増収となりました。また、石材事業では、石材卸売において販売価格の見直し等により石材卸売単価等が前年同期よりも増加するとともに、石材小売において来店客誘致と成約率向上、墓石のリフォーム・メンテナンスの提案、単価向上施策等に取り組み、石材小売の数量・単価が前年同期を上回り、増収及び営業増益となりました。婚礼事業では、婚礼施行の単価向上施策や宴会の受注促進等を強化し、宴会施行の

件数・単価は増加した一方で婚礼施行単価が前年同期よりも微減となり、加えて婚礼会場の閉館に伴う婚礼施行件数の減少もあり、減収となったものの営業損失幅は圧縮することができました。各事業において、引き続き環境の変化に対応した収益基盤づくりに取り組んでまいります。

Q3 通期の連結業績見通しをお教えてください。

現時点においては、期初に立てた業績予想を据え置いております。

2023年度(2024年3月期)の通期連結業績予想につきましては、喜月堂グループとのM&Aに伴う業績への影響を精査した結果、期初の業績予想から大幅な差異は生じない見込みとなり、季節変動要因や不確定要素等もあるため、現時点においては据え置いております。通期の連結業績予想は、売上高が前期比1.2%増の9,680百万円、営業利益が同0.2%増の625百万円、経常利益が同0.3%増の670百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同181.6%増の420百万円を見込んでおります。

■ 連結業績の推移(単位:百万円)

	2023/3		2024/3	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(予想)
売上高	4,773	9,562	4,799	9,680
営業利益	331	623	262	625
経常利益	349	668	377	670
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	169	149	235	420

Q4 中期経営計画の進捗状況をお教えてください。

「成長をスパイラルアップするフレームづくり」を着実に押し進めております。

第4次中期経営計画(2023年3月期~2025年3月期)では、「成長をスパイラルアップするフレームづくり」を基本方針とし、次

の3つの重点施策を掲げております。

1 「価値創造のフレームづくり」

2 「経営資源の集中と深化」

3 「経営基盤の強化」

中計2年目となる当期は、これらの重点施策に積極的に取り組んでおります。

具体的には、マーケティングの高度化に向けたWebマネジメント体制の再構築や葬祭事業のコンタクトセンター設置準備等を押し進めるとともに、生産性向上の取組みの一環としてインボイス制度に対応するための基幹システム改修等を実施しました。

また、戦略的アセットマネジメントとして、葬祭会館1施設(茨城県牛久市)を開設するとともに、葬祭事業と石材事業のコラボレーションによって仏壇・仏具及び墓石等を販売する店舗(福島県会津若松市)の開業準備を進めました。

加えて、事業開発による業容拡大として、喜月堂ホールディングス株式会社(山梨県韮崎市)の全株式を取得し、同社及び葬祭事業子会社3社が当社グループに加わりました。

更に、コーポレートガバナンスの充実を図るため、取締役会の実効性評価の実施及び結果の概要の開示や、株主総会の議決権行使に係る環境整備、BCM活動の実践によるリスク管理体制の強化等に取り組ましました。

「2030年ビジョン」の実現に向け、引き続き中計の重点施策を着実に押し進め、企業価値の最大化を図ってまいります。

なお、株主の皆様への利益還元につきましては、当期も中間配当15円を実施し、期末配当15円(予想)、年間配当30円を計画しております。

株主の皆様には、引き続き当社グループの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

葬祭事業におけるM&Aを推進

当社は、2023年9月1日付で山梨県韮崎市を本拠地とする喜月堂ホールディングス株式会社の全株式を取得し、同社及び葬祭事業子会社3社(株式会社セレオ、株式会社四季、有限会社喜月堂)を当社グループに迎え入れました。本件株式取得は、当社グループにおける葬祭事業の営業エリア拡大とシナジーの発揮に資するものです。

また、2024年2月1日を効力発生日として、喜月堂ホールディングス株式会社を存続会社、同社の葬祭事業子会社3社を消滅会社とする吸収合併を行い、存続会社の商号を「株式会社喜月堂セレオ」へ変更することを決定いたしました。これにより、当社グループ全体における経営資源の配分及び事業運営の最適化・効率化を図ってまいります。

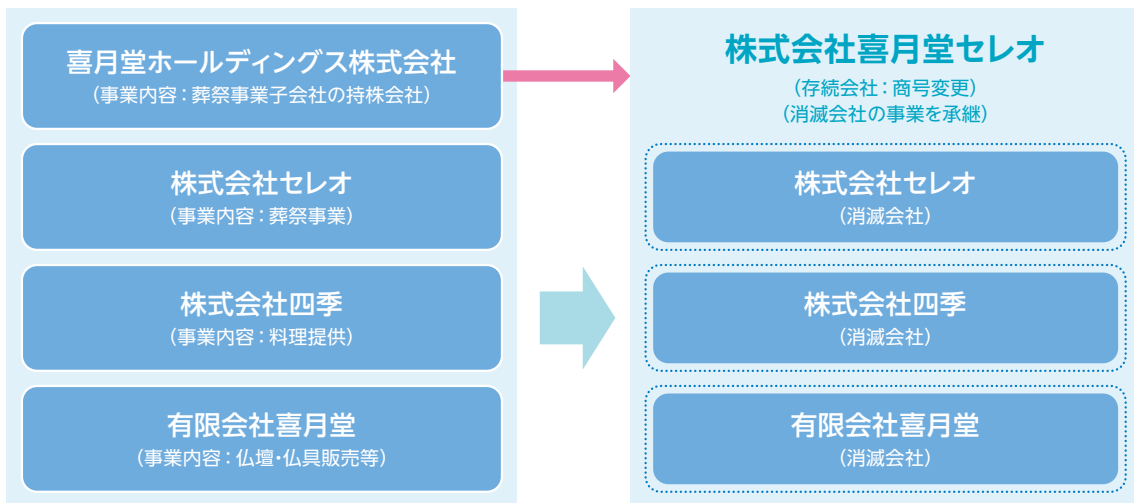


セレオホール甲斐(外観)



セレオホール北社(内観)

存続会社「喜月堂ホールディングス株式会社」の商号を「株式会社喜月堂セレオ」に変更(2024年2月1日予定)



TOPICS
1

「家族葬のこころ斎苑 牛久南」オープン

当社の連結子会社である株式会社たまのやは、従来から茨城県牛久市において「こころ斎苑 牛久」を運営してまいりました。この度、小規模葬儀ニーズへの対応を充実させるため、同会館に隣接する新たな葬祭会館「家族葬のこころ斎苑 牛久南」をオープンいたしました。これにより当社グループ全体における葬祭会館は計37施設となりました。

当社グループは、引き続き、攻守に戦略的な店舗展開等により、葬祭事業における営業規模の拡大及び競争力の強化を図ってまいります。

施設タイプ	家族葬専用葬祭会館
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ① セレモニーホール 最大10名の家族葬・一日葬(通夜を行わないスタイル)・火葬式に対応 ② 遺族控室 浴室完備でご遺族の宿泊も可能 ③ その他 宗旨宗派不問 直接安置が可能(24時間365日対応) JR常磐線「牛久駅」から徒歩8分の好立地



外観



内観

TOPICS
2

固定資産の譲渡決定及び特別損失(減損損失)の計上

当社は、当社の連結子会社である株式会社With Weddingが運営する婚礼会場「アニエス会津」(福島県会津若松市)を2023年11月30日付で閉館した後、当該固定資産(建物)を撤去することを決定しておりました。

建物撤去後の当該固定資産(土地)については、当社グループ内で活用する見込みがないことから、譲渡することを決定し、当上期において譲渡決定に伴う減損損失26百万円を特別損失へ計上いたしました。

■ 譲渡資産の内容

名称	アニエス会津
資産の概要	土地4,945.74㎡
現況	婚礼会場
今後の予定	物件引渡:2024年6月(更地による引渡し)

